

祈りの模範

「私たちが神のことばを後回しにして、食卓のことに仕えるのは良くありません・・・

私たちは祈りと、みことばの奉仕に専念します。」（使徒の働き6:2～4）

使徒たちは、私たちクリスチャンの模範になる人たちです。

ペンテコステの日に教会は誕生しました。しかし、主イエス様は天に帰られ、何もかも^{ゼロ}からのスタートです。初めて3000人以上の人々が主イエスを信じて洗礼を受けたその日から、続々とその数は増え続けます。使徒たちはその人々をどのように導き、教え、群れを運営し、共に生活していったのでしょうか。その秘訣は祈りによる、生ける主との関係、力強い交わりの継続でした。あらゆる事柄の対処は、祈りによって与えられ、ご聖霊の導きに従えば全て上手くいきました。そのため、使徒たちはいつも目を覚ましていて祈りました。

彼らは祈りこそ、生涯の最も大切な仕事と認めていたのです。

聖書の学び

I、使徒たちの祈り

- 1、初代教会の力強い働きの背後にあったのは、祈りです。食べ物のことで苦情が出たとき、使徒たちはどうしましたか？

（使徒の働き6:2～4）

- 2、後に使徒として加わったパウロは、多くの時間を祈りに費やしていることを記しています。

① パウロの福音宣教の導きは、どのように頂くのでしょうか？（ローマ1:9、10）

② パウロは遠くにいて、会えない人々のためにどうしていましたか？

（エペソ1:15、16）

③ パウロは救われた信徒たちが霊的に成長するために、どのような祈りをしていますか？
(コロサイ1：9、10)

④パウロは個人的に重荷のあるテモテのために、どのように祈りましたか？
(Ⅱテモテ1:3)

Ⅱ、主イエス様の祈り

1、 ルカ6:12に、主イエス様が12人の使徒を選ぶときの前夜、どうされかが書かれています。

①徹夜で、父なる神様に祈られた理由は何だと思えますか？(ルカ6:16)

②あなたは、主イエス様がイスカリオテ・ユダを加えた事を読んで、主が何を目指して進んでおられると思えますか？

2、主イエス様であっても、父なる神様に祈らないで、決める事はされませんでした。私たちクリスチャンに足りないのは何だと思えますか？
(エペソ6：18)